

教育ながの

ー長野県教育委員会メールマガジンー

第 594 号
平成 24 年 5 月 18 日

1. ひろば

「緊急メッセージ」を受けて

長野県教育委員会教育次長 市川 武二

2. 特集

平成23年度公立高等学校卒業者の進路状況について

教学指導課

3. 今、学校では

村政へ参画する「中学生議会」く気づいて築く わがふるさとく

高山村立高山中学校

4. ご存知ですか？

総合教育センターについて

総合教育センター

5. イベント情報・お知らせ

県生涯学習推進センター研修講座

長野県立歴史館 春季企画展

あなたも「熟議」してみませんか？ ほか

6. あとがき

「緊急メッセージ」を受けて

長野県教育委員会 教育次長 市川武二

またも発生した非違行為

本県において、教職員の児童生徒へのわいせつ行為や酒気帯び運転などの重大な不祥事が続発していることを受け、4月26日、長野県教育委員会は不祥事の根絶に向けた**緊急メッセージ**を发出了しました。

このような不祥事は一人の人間として、一人の社会人としてのことの善し悪しであり、教職員である以前の問題です。

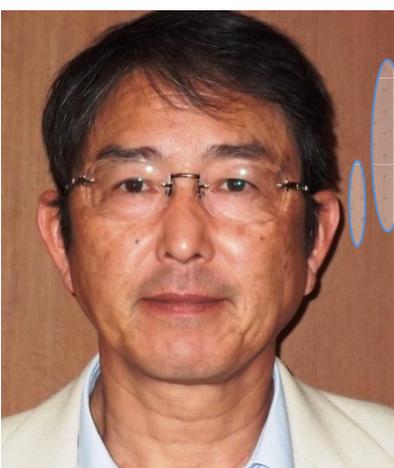
しかしながら、類似のような事案は、残念ながら本県に限らず全国でも発生しています。発生のたびに、教職員を含む公務員に関する反社会的事案への取組は、本県も含め種々実施されてはいるものの後を絶ちません。

減らない懲戒処分件数

なぜ同じようなことが繰り返されるのでしょうか。

私たち教職員は、地方公務員法や教育公務員特例法、条例等関係法令で守秘義務や服務、勤務条件等が定められているとともに、これに違反した場合の懲戒処分等についても定められています。

長野県教育委員会でも、教職員の非違行為の防止・抑制を図る目的で、「**懲戒処分等の指針**」を制定・公表していますが、平成23年度はその件数は16件（免職3、停職1、減給6、戒告6）となっており、14年度以降の10年間をみても、少ない年で13件、多い年は25件という状況で、



一向に改善される様子がかげられないというのが現状です。また、同じ期間で免職になった教職員は34人になっており、免職者のいなかった年はありません。

いつまでも繰り返すな

同じ過ち

免職になった教職員の中には、家庭のある者もいますが、本人を含む家族の生活はどうなるのでしょうか。児童生徒達への影響をなぜ考えないのでしょうか。

独身の教職員も今後の自分の一生をなぜ考えないのでしょうか。非違行為に及ぶ誘惑にかられたとしても、このことを考えれば必ず抑止力として働くはずと考えますし、是非、誘惑を断ち切ってほしいのですが…。このことは、誰のためでもなく自分自身のためなのです。

非違行為を行った後ではすでに遅いわけですが、懲戒処分に該当するような全国的な事案や本県のこのたびの事案などを、自分には関係ない、「対岸の火事」と思っていないませんか。

このような気持ちがある限り、当事者になつてしまう危険性が大いにあります。

故事にも「人の振り見て我が振り直せ」とあります。

残念ながら発生してしまった今回の事案については、教職員全員が自分のことと考え、同じことを繰り返さないよう強い決意と自覚をお願いします。

自分一人ではないのです。家族や児童生徒の顔を思い起こしてください！

・教職員の皆さんへの緊急メッセージ「不祥事の根絶に向けて」

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kenkyoi/jouhou/gyousei/kyousyokuin/20120426m.pdf>

・懲戒処分等の指針

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyousumu/kijun/kijun.htm>

・職員の懲戒処分の状況

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyousumu/kijun/chokai.htm>



特集

平成23年度公立高等学校卒業者の

進路状況について

こ

の春公立高等学校を卒業した方は15,586人で、平成22年度より613人減少しました。今月は卒業生の皆さんの進路状況を集めます。

◆大学への進学状況はどうなっているの？

◇進学では、国公立大学への進学者が、1,554人、卒業生全体に占める割合は10.0%で、前年度より0.5ポイント減少しました。

私立大学進学者は4,471人、28.7%で0.7ポイント増加しています。

4年制大学全体では、進学者6,025人、38.7%であり、0.3ポイントの増加となりました。短大進学者は1,414人で、前年度と同じ9.1%でした。

◆大学以外を含めるとどうなるの？

◇大学、短大、専修学校（予備校を除く）、海外の教育機関を含めた進学率は、ここ3年72%前後で推移しており、今年度は71.2%で0.6ポイントの減少となりました。

浪人生は1,530人、9.8%で、前年度より147人、0.6ポイント減少しています。浪人生の中には希望校への進学を目指し、大学や短大に合格をしながら浪人した生徒が14%ほど含まれています。

今後も、**合格に必要な学力を身につけ、伸びる力を一層伸ばす**とともに、**進学した後も視野に入れた進路指導を充実**させていただきます。

◆就職状況はどうだったの？

◇就職希望者は、平成21年度以降増加傾向にあります。23年度の就職希望者は、前年より132人多い2,719人で、3月末までに就職が内定した生徒は2,622人、内定を得られなかった生徒は前年より44人少ない97人です。

また、就職内定率は、前年の94.5%を1.9ポイント上回り、96.4%で、これは過去10年間では19年度につぐ高い数値です。

課程別の内定率では、全日制・定時制ともに前年を上回りました。

高校生の就職を取り巻く環境は、いまだに厳しい状況ですが、**前年より高い内定率**になったのは、各校での熱心な取組、関係機関による支援事業や施策の成果だと思えます。特に、3月まで延長して配置した就職活動支援員の効果は大きかったと考えています。

今後も、卒業者に対しては、学校に相談窓口を設置して就職を支援していきます。また、今年度は、就職指導全般を支援する「**就職指導サポーター**」を高校に配置し、就職指導を支援していきます。

◆上記のほかに、「**家居等**」として、自営、在宅の浪人、就職未内定者を含む求人活動やアルバイトをしている者もいます。23年度は0.7ポイント減少しておりますが、社会的自立のために支援するとともに、**学校現場ではキャリア教育を推進**していきます。

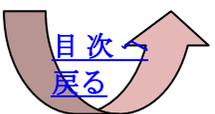
◆このように、厳しい経済状況が、生徒の

進路に影響し、**大学進学志向の高まり**と、
専修学校への進学者の減少、また大学生の
就職状況が厳しいこともあり、**就職者の増**
加となったものと思います。

・詳しい資料はこちら

[http://www.pref.nagano.lg.jp/kenkyoi/t
eireikai/939/939-4.pdf](http://www.pref.nagano.lg.jp/kenkyoi/t
eireikai/939/939-4.pdf)

■お問い合わせ
教学指導課 高校教育指導係
Tel : 026-235-7435
Fax : 026-235-7495
e-mail : kyogaku@pref.nagano.lg.jp



今、学校では

村政へ参画する「中学生議会」

〜気づいて築く わがふるさと〜

高山村立高山中学校

中

学生議会。みなさんはこんな言葉を聞いたことがありますか？

長野県の北に位置する高山村立高山中学校。ここでは「中学生議会」という、ユニークな活動を行っています。実際にどんなことをしているのか、今月は高山中学校に注目します。

◆高山中学校「中学生議会」とは

平成10年から始まり、今年で14回目を迎えます。総合的な学習の時間に学んだことをもとに、中学生が村づくりに向けて**村政に提案し、協議する**という形をとっています。生徒が、未来を担う青少年の立場から村政に参画することを通し、地域住民、村民の一人としての自覚と決意を深めることを目的として行われています。この議会は、学習の成果の発表や提言活動だけではなく、生徒が議員となって質問、提案し、村長さんをはじめ、村当局の行政の方に答弁していただくといった、**村づくりのための**

協議の場となっています。

◆「中学生議会」への取組

総合的な学習の時間では「故郷（ふるさと）高山村と私」をテーマにそれぞれの学年・クラスで体験的な学習活動や調査活動を進めています。平成31年度を目標年度とした第五次高山村総合計画「ひと・むら・自然がきらめく信州高山」を受け、村長さんに村の将来像についてお聞きしたり、村でいろいろな活動をしている方や施設を訪問したり、更に他の市町村との比較や取材をしたりする等、自分の課題をもって活動しています。

中学生議会は、学校目標「自ら学び 高みゆく」の具現に向けた重点「聴き合い、語り合い」「郷土愛着」「人権尊重」に迫る具体的な場であり、生徒の自己実現の大切な機会であると考え、学校教育活動の中核の1つとして進めています。



↑生徒の質問や提案に対して答弁する久保田勝士村長。村営ワイン醸造施設建設とワイン醸造を学ぶ人への奨学金制度設立により農業振興を図ることへの提案。回答は…。さすが高山村！というものです。

↓高山村を全国に広め足を運んでもらうために「一茶館」と「スパイン（信州高山アンチエイジングの里スパ・ワインセンター）」のイメージキャラクターを考案等アイデア満載！はたして採用なるか…。



◆村づくり参画への手ごたえ

今年度も観光や産業、防災について等、様々な点から提案する予定で学習を進めています。村当局には、いつも丁寧にお答えいただき感謝しております。また、村道沿線への桜の植樹、村内ゴミ袋の改訂、歩道ブロックへの反射板の設置、「あいさつの日」の制定、小中学校へのソーラーパネルの導入等、生徒が提案したことを村の施策に取

り入れ実現していただいていることは、生徒のやりがいにつながり、村民の一人として村づくりや自分のあり方を考えるきっかけにもなっています。

今年度も高山中学校体育館を議場に、**10月24日(水)**に開催を計画しています。「故郷たかやまデー」での体験や調査をもとに、9月下旬には、村に提案書を送る予定です。



↑一茶ゆかりの里である高山村に新たな土産を提案。村が特産品をめざしているソルガムと一茶の「茶」にちなんだお茶を入れた「一茶サブレ」を考案しました。味は…。採用されたらぜひご賞味ください。

■お問い合わせ

高山村立高山中学校

〒382-0825

上高井郡高山村高井 4575

TEL : 026-245-0948

目次
戻る



ご存知ですか？

総合教育センター

長

野県総合教育センターは、教育関係職員の研究事業、生徒実習、専門的・技術的事項の研究調査や情報収集・提供、教育相談を行う施設として、平成8年に塩尻市に設置されました。総務部、企画調査部などの6部が次の事業に取り組んでいます。

◆研修事業

教員の資質能力の開発、向上のために、専門的な知識、技能を修得する研修や学力向上等の教育課題を解決する力を育成する研修等を行っています。指定研修として校長・教頭研修や初任者研修等を、希望研修として、生徒指導や特別支援教育等の各分野の研修を実施しています。

昨年度研修に参加された教員は約1万人。今年度は、教員のキャリアステージに応じた研修を見直した他、7つの新設研修を設け充実を図りました。



↑総合教育センターは松本平の眺望と新緑が美しい環境にあります。理念は「磨かん共に」。



講堂は700人の収容が可能です。他にも120人収容や20人収容など、規模に応じて利用されます。

◆研究調査事業

学校における教育活動の充実や向上、教育の諸問題の解決を支援するため、学力向上や生徒指導、喫緊の課題に対応したテーマ等の研究調査を行い、ホームページで公開しています。さらに信州大学との連携による教員、学生の双方の講座受講なども行っています。

今年度初めての事業として、平成25年2月22日に**センター研究発表会**を行います。

◆教育情報事業

教育情報資料室や展示コーナーでは、センター内外の研修に関する情報や教育に関する図書、教材等の情報、資料が閲覧できます。

視聴覚ライブラリーでは、授業に活用できるDVD、ビデオ等の貸出しを行うほか、センターホームページや**センター通信**「**ののめ**」で情報を発信しています。

◆教育相談事業

幼児、児童生徒、保護者、教員が抱えている不安や悩み（いじめ、不登校、発達障害など）に助言を行い、学校や関係機関と連携して支援しています。平成23年度には約1,500件の相談をいただきました。生徒指導と特別支援の両面を所管している利点を生かし、多様な相談に応じています。

また、教職員を対象に生徒理解、教材研究等に関する教育相談も行っています。

◆センターの講堂、研修室等の貸出し

今年4月から、講堂や研修室、テニスコ

ートなどの施設を広く県民の皆様にご利用いただくこととしました。施設の概要、予約方法や使用料は、[センターホームページ](#)をご覧ください。またご不明の点は総合教育センターまでお問合せください。

・視聴覚ライブラリーホームページ

<http://www.nn-hsavl.gr.jp/>

・電話、メール相談の連絡先、来所相談の方法など

<http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/soudan/index.htm>

■お問い合わせ
長野県総合教育センター
Tel : 0263-53-8800
Fax : 0263-51-1290
e-mail : webmaster@edu-ctr.pref.nagano.jp
ホームページ :
<http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>



イベント情報・お知らせ

研修講座のご案内

◆県生涯学習推進センター ※受講は無料です。

タイトル	日時	講義・実習	講師	備考
天体観測講座 「太陽面を横切る金星を 見よう！」	6月6日(水) 10:00～ 12:00	天体観測(15cm望遠鏡他で 安全に金星を観測します)	総合教育センター 門主事、天体観測サ ポーター	
家庭・幼児教育講座 「子どもがよろこぶ、 楽しい運動遊び」	6月26日(火) 10:00～ 16:00	講義「スポーツにつな がる楽しい運動遊び」 演習「子どもがよろこぶ、 楽しい運動遊び」	渡辺敏明 信州大学 教育学部准教授	託児可
生涯学習推進講座 「学びをつなぐ公民館」	7月4日(水) 10:00～ 16:00	講義・演習「ふりかえりな がら歩を進める」	廣瀬隆人 宇都宮大 学生涯学習教育研究 センター教授	
男女共同参画フォーラム	7月7日(土) 13:00～ 15:45	テーマ「働き方を考える」 基調講演・シンポジウム	松岡英子 信州大学 女性研究者支援室 長岡教育学者部教授	「岡谷市と ああいと 開催」
生涯学習推進者実践講座 「5回連続講座」①	7月19日(木) 13:00～ 16:00	講義「これからの生涯学習 基礎」・情報交換	白戸洋 松本大学 総合経営学部教授	11月 毎月 1回 開催
「家庭・幼児教育講座 「豊かな心を育む子育て」	7月24日(火) 10:00～ 16:00	講義「今、子どもにつける 力と、家庭や地域の大人の 役割」・事例発表・情報交 換	門脇厚司 筑波大学 名誉教授・茨城県美 浦村教育長	託児可

* 「備考」欄に会場の記載がない講座は、当センターにおいて開催します。

■お問い合わせ

長野県生涯学習推進センター

〒399-0711

長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4

Tel : 0263-53-8822

Fax : 0263-53-8825

e-mail : shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp



◆**県体育センター** 平成24年度 **新規研修講座について**

◇本年度も長野県体育センターでは、現場の先生方や地域スポーツ指導者のニーズにお応えし、多彩な研修講座（47講座）を用意しました。このうち、**7ジャンル16講座は新規研修講座**です。特に「脳の発達と子どもの運動」は、**柳沢運動プログラムの理論と実践**を県下5会場で開催します。クラブの幼児向け教室に大変役立つ内容です。お近くの会場にて是非受講してください。

引き続き松本大学との連携・公開講座も4講座開設します。

その他、総合型クラブの各種イベントや教室で生かせる研修講座を沢山用意しました。なお、受講料は無料です。

◇「脳の発達と子どもの運動」講座

会場となる市	日時	会場
松本市	9月6日 (木)	スカイパーク体育館
飯田市	7月21日 (土)	飯田市県民館 飯田市市民館
長野市	7月14日 (土)	長野市豊野公民館 長野市豊野体育館
東御市	6月23日 (土)	東御市総合福祉センター 東御中央公園第2体育館
岡谷市	6月16日 (土)	岡谷市東体育館会議室 スワンドーム



◇松本大学との連携・公開講座

	NEW	NEW			
※3の研修講座は信州スカイパーク体育館での開催になります。	4 スポーツ心理学	3 関係づくりに効果的なレクリエーション・ゲーム	2 運動と学業成績の関係について	1 人生はピンピン☆きらり！	講座名
	1月26日 (土)	10月15日 (月)	8月7日 (火)	6月13日 (土)	日時
	齊藤茂 松本大学専任講師	犬飼己紀子 松本大学教授	篠原菊紀 諏訪東京理科大学教授 岩間英明 松本大学准教授	根本賢一 松本大学准教授	講師
	40名	40名	40名	40名	定員

■お問い合わせ

長野県体育センター

〒390-1131 長野県松本市大字今井 3443

Tel: 0263-86-0218 Fax: 0263-86-0204

ホームページ:

<http://www.pref.nagano.lg.jp/xkyouiku/tai/ce/index.htm>



イベント・募集

◆第34回「スポーツ天国」

今年度は信州に誕生した4つ（松本山雅FC、AC長野パルセイロ、信濃グランセローズ、信州ブレイブウォリアーズ）のプロスポーツ選手との交流、障がい者スポーツの交流と体験を新種目として加えて開催します。皆様の御参加をお待ちしています。

タイトル	日時	場所	申込期間
第34回「スポーツ天国」について	7月7日 (土) マレットゴルフは 7月4日 (水)	松本平広域公園（信州スカイパーク）	5月14日 (月)～ 5月31日 (木)

◆平成24年度「体力測定診断事業」

競技力向上を目指すスポーツ選手を対象にした専門測定は、運動部に所属している中学生・高校生等に数多く利用して頂いており、22年度比23年170%、また、一般県民を対象とした一般測定も22年度比23年197%と大幅に利用者が増えたため、23年度全体としては、22年度比23年186%と過去最高の利用者（1,182人）を記録しました。

今年度は主に一般測定を中心に実施します。予め期日を設定し、毎月1～2回程実施して参ります。なお、**個人での申し込みが可能**です。

5月から7月までの測定実施日は、**5月16日、6月6日、6月13日、7月18日、7月31日**となっています。

なお、本事業は本年度をもって終了する予定です。

■お問い合わせ

長野県体育センター

〒390-1131 長野県松本市大字今井 3443

TEL: 0263-86-0218 FAX: 0263-86-0204

ホームページ:

<http://www.pref.nagano.lg.jp/xkyouiku/tai/ce/index.htm>

スポーツ課 管理係

TEL: 026-235-7447 FAX: 026-235-7476

e-mail: sports-ka@pref.nagano.lg.jp

目次
戻る

◆長野県立歴史館 春季企画展 長野県の満州移民 ～三つの大日向をたどる～
 昭和の初め、長野県から3万人を越える人々が満洲に移民しました。南佐久郡大日向村（現佐久穂町）は、全国に先駆けて満州への分村移民を決断した村です。
 今回の企画展では、南佐久郡大日向村から満洲へ、さらに軽井沢町大日向地区へと三つの大日向を生きた人々の足跡をたどります。そこで満州へ渡った人々の心情に迫り、戦争の悲惨さと平和の尊さを考えます。

場所	開催期間	開館時間	休館日	観覧料 (常設展共 通)
長野県立歴史館	平成24年5月26日(土)～ 7月16日(月・祝)	午前9時から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)	毎週月曜日 (ただし7月16日は開館)	◇大人 500円(400円) ◇高生 250円(200円) ◇小学生 120円(100円) ※(中学生以上)の団体

※次の方は無料です。
 ◇平日、学校の教育活動として観覧する県内の小・中・高生
 ◇身体障害者手帳などの交付を受けている方とその介護者
 ◇土・日曜、祝日及び振替休日に観覧する小・中・高・特別支援学校生

◇講演会

講師	開催日時	タイトル
上條宏之 長野県短期大学学長	平成24年5月27日(日) 午後1時30分～	なぜ数多くの県民が満州へ移民したのか ～三つの大日向を事例として～



時間	開催日	場所
午後1時30分から4時10分	平成24年6月17日(日)	長野県立歴史館

◆長野県立歴史館職員が語る 「歴史館セミナー」(第1回)

平成23年度に歴史館職員が研究した成果を発表し、最新の歴史情報をお伝えします。

開催日時
平成24年6月2日(土)・7月7日(土)・ 16日(土)・7月7日(土)・ 各午後1時30分

◇満州を語る

開催日時	タイトル	開催日時	タイトル
平成24年6月23日(土) 午後1時30分	嗚呼満蒙開拓団	平成24年6月9日(土) 午後1時30分	蒼い記憶(アニメーション)

◇映画会

■お問い合わせ

県立歴史館 総合情報課
〒387-0007 千曲市屋代 260-6
TEL : 026-274-2000 FAX : 026-274-3996
e-mail : rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ <http://www.npmh.net/>

■お問い合わせ

県立歴史館 総合情報課
〒387-0007 千曲市屋代 260-6
TEL : 026-274-2000 FAX : 026-274-3996
e-mail : rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ <http://www.npmh.net/>



◆長野県立歴史館講座 「古代信濃の王」

平成24年度の考古学講座は、「古代信濃の王」と題し、全4講座（うち1回は遺跡探訪会）を開講します。

県立歴史館の職員が、わかりやすく解説しますので、考古学に興味を持ち始め、学習の機会を求めている方には、とても良いきっかけの場になると思います。
ぜひ、県立歴史館の考古学講座にご参加ください。

会場	日程	時間	申込	参加費
長野県立歴史館	◇第1回 5月19日（土） 「はじまり」 ◇第2回 6月24日（日） 「王国の広がり」 ◇第3回 7月21日（土） 「大王と王」 ◇遺跡探訪会 10月27日（土）	午後1時30分から午後3時まで	所定の申込書の提出が必要です。 （通年予約制。当日受付も可。）	資料代として、1回200円をいただきます。 なお、遺跡探訪会は他に別途参加費がかかります。

■お問い合わせ
 県立歴史館 考古資料課
 〒387-0007 千曲市屋代 260-6
 TEL : 026-274-2000 FAX : 026-274-3996
 E-mail rekishikan@pref.nagano.lg.jp
 ホームページ <http://www.npmh.net/>



◆あなたも「熟議」していませんか？「熟議」開催マニュアルを掲載しました！
 開かれた学校づくりの一層の推進を目的として「熟議」の普及促進を図るため、「熟議」開催マ
 ニュアル（学校における「熟議」のすすめ）を掲載しましたので、活用ください。

じゅくーぎ【熟議】

<p>【意味】 多くの当事者が「熟慮」と「議論」を重ねながら、課題解決・政策形成をしていくこと。 次の手順で行う話し合いのプロセスのこと。</p>	<p>① 多くの当事者（学校、保護者、地域住民等）が集まる ② 課題について学習・熟慮し、議論をする ③ 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まる ④ 解決策が洗練される ⑤ 個人が納得して自分の役割を果たすようになる</p>
<p>【感想】</p>	<p>① 様々な立場の人と同じテーブルで話ができ、学校の抱えている課題についての認識が共有できた ② 様々な考え方を聞いて、自分の視野が広がった気がする ③ 各学校でもっと熟議を推進するべき</p>
<p>—平成23年度県政タウンミーティングにおける「熟議」に参加された方より</p>	

・お願い
 研修会や会議等で、今後「熟議」を実施する予定がありましたら、左記問い合わせ先まで情報提供をお願いします。

・熟議開催マニュアル

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyousoumu/jukugi/jukugi.htm>

■お問い合わせ
 教育総務課企画係
 Tel : 026-235-7423
 Fax : 026-235-7487
 e-mail : kyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp



◆教職員の皆さんへの緊急メッセージ「不祥事の根絶に向けて」を掲載しました

(PDF形式：55KB / 1ページ)

◆長野県キャリア教育実践事例集（小中学校編）を掲載しました

◆特色ある学校一覧を更新しました

◆「熟議」開催マニュアルを作成しましたので、「活用ください

◆平成25年度公立学校教員採用選考情報を掲載しました

◆平成24年度教育行政の概要を掲載しました

◆第1回キャリア教育支援センター総会資料を掲載しました

あとがき

最近何かと「B級グルメ」なるものが話題ですね。

先日、長野県のB級グルメとしても注目されているダムカレーを食べようと黒部ダムに行ってきました。私が住んでいる場所では夏日のように暑くなる日があったにも関わらず、ダムにはまだ雪が残っていて、涼しく気持ちのいいひと時を過ごすことができました。ですが、その気持ちよさからついつい長居をしてしまい、気付くとお昼をとくに過ぎていて・・・ダムカレーを食べ損なってしまいました。

そんな黒部ダムではもうじき放水も始まるようです。ダムカレーのリベンジも兼ねて是非また行こうと考えているところです。

段々と暑い日も増えてきたこのごろですが、みなさんも涼とダムカレーを求めてぜひ行かれてみてはいかがでしょうか？（ひ）